

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
CAMRY
DAIHATSU
ALTIS

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

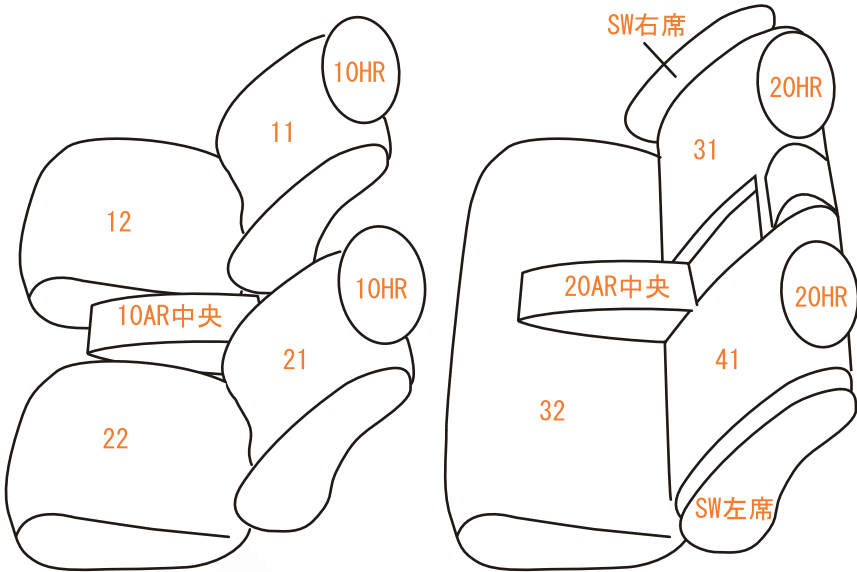
…> 05-30

シートカバーの装着方法

…> 31-32

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (12mm) ※プラスビットドライバーソケット 3番
- ② プラスドライバー (2番・3番)
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

※プラスビットドライバーソケット 3番は、17ページ13番の作業を行う場合のみご用意下さい。
またプラスビットドライバーソケット 3番がある場合は、②のプラスドライバー 3番は必要
ありません。
ソケットレンチセットのエクステンションバーも必要に応じてご用意下さい。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

※主にパワーシートで説明していますがマニュアルシートも同様の方法で取り付けます。



- 1 始めに背もたれ背面からシート裏に固定してある生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムを引っ掛けて固定しています。ゴムの固定をほどき、図のように生地を外します。外した生地はめくり上げてポケットのフチに引っ掛けておきます。



- 2 シートが一番高い位置でカバーの装着を行います。パワーシートは図のように外側のスイッチで、マニュアルシートはシートリフターで一番上までシートを上げた状態にします。



- 3 カバーを図のように裏返してシートのラインに合わせます。



- 4 シートベルトバックルをカバーの加工穴に通します。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。シート背面にはサイドエアバッグやパワーシートの配線があります。配線部分に注意して、配線をかわずながら生地を引き出します。生地は引き出しすぎるとカバーがシートのラインからずれるので、ご注意下さい。



7 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



8 外側面の固定部材の付いた生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込み固定します。



9 シートの付け根辺りは隙間が狭くなっています。指で入れ込めない部分は、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



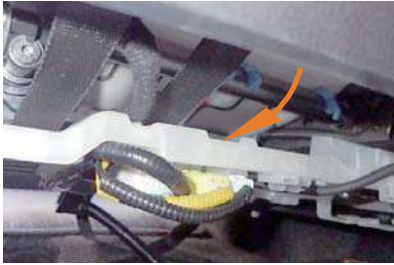
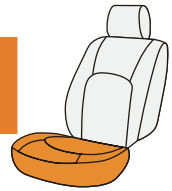
10 内側面の生地の上にマジックテープが付いています。内側面の生地をシートとコンソールボックスの隙間に入れ込み、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープにはカバーの裏地を傷付けないように保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外してからマジックテープを固定して下さい。



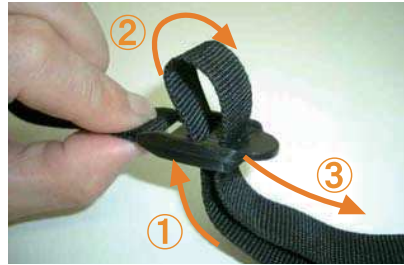
11 カバーの前側にベルトが付いています。☒はパワーシート車です。パワーシート車はプラスチックパーツの内側にベルトを通して下さい。マニュアルシート車は、シートの前側にプラスチックパーツはありません。12番に進んで下さい。



6P▶12 ベルトはシートの裏を通してシートの背面へ入れ込みます。



- 13 ベルトはシート裏にある各部品の上側を通します。



- 16 ベルトは①～③の順番でバックルを通して引き、カバーの前後を固定します。ベルトは強く引き過ぎると生地が裂けたり、カバーの表面が浮いてしまうので適度に調整して下さい。



- 14 入れ込んだベルトをシート背面から引き出します。



- 17 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。



- 15 ベルトを5ページ6番で引き出した生地に付いているバックルを通して固定します。



- 18 助手席・運転席マニュアルシートの前側は図のようになります。装着は運転席と同様の方法で行います。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、5ページ1番で外した生地はポケット側にめくり上げて、カバーの中へ入れ込みます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



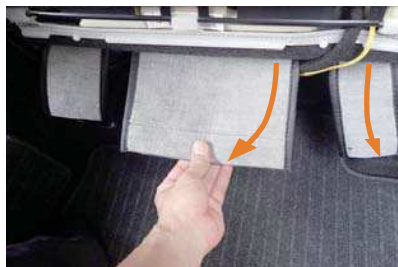
- 3 生地のをびを利用して図のようにヘッドレストの台座を取り出します。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5 シートの端の隙間は大変狭くなっています。どうしても生地が入らない場合は、ヘラなどを使用して生地を入れ込んで下さい。この際ヘラで生地の上に付いているマジックテープの表面を押すと、生地が傷が入らずに入れ込むことができます。マジックテープの縫い目や生地を直接ヘラで押すと、糸が切れたり、生地が傷が付く恐れがあるのでご注意ください。



- 6 シートの背面から生地を引き出します。シート背面にはサイドエアバッグやパワーシートの配線があります。配線部分に注意して、配線をかわしながら生地を引き出します。



7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



10 8ページ6番で引き出した生地と、カバーの背面下（ポケットの一番下の裏側）をマジックテープで固定します。



8 側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
内側のファスナーはコンソールがあり、閉じ辛くなっています。シートを一番後ろへ下げた状態で作業を行って下さい。



11 カバーの背面下に付いている生地は5ページ1番で外した生地の代わりの役目をします。生地の端に付いているゴムに、付属の金属フックを図のように取り付けます。



9 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。



12 金属フックは5ページ1番で外した生地を固定していた、シート裏のプラスチックフックに引っ掛けて固定します。



- 13 カバーの背面下は図のようになります。



- 1 2列目座面はシートを車体から外してカバーの装着を行います。
始めに2列目中央シートベルトの固定を外します。こちらは図の奥が赤くなっているくぼみ部分をヘラなどを差し込み押し出すことで外れます。



- 14 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 2 シートは図の矢印部分のシート裏にフックで2か所固定してあります。シート裏のフック近くに手をかけて、片側ずつ真上に持ち上げて外します。図の丸印は受け側です。前側のフック2か所が外れると図のような状態になります。フックを外す際は、腰をしっかり入れて、力を込めてシートを持ち上げる必要があります。



- 3 シートの後ろ側にもフックが掛かっています。こちらはシートの付け根を押し込み、シートを上向きに角度を少し変えることでフックが外れます。
フックの形状は13ページ20番をご参照下さい。



- 4 2列目座面が車体から外れました。シートは車外の作業が出来るスペースへ慎重に運び出します。



- 7 プラスチックパーツは図のように外れます。合計4か所あるプラスチックパーツを全て同様に外します。



- 5 チャイルドシート固定用のアンカー周りを覆っているプラスチックパーツを外します。プラスドライバーを使用して図のネジを外します。



- 8 車体から外したシートにカバーをかぶせます。カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 6 プラスチックパーツは5番のネジと後ろ側のツメで固定されています。ネジを外しプラスチックパーツを矢印の方向に押しツメを外します。



- 9 シートの後ろ側のフックにカバーの加工穴を通します。



- 10 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 13 作った輪にもう片側のヒモを通します。



- 11 10番の状態からシートを裏返します。カバーの前後に付いているベルトを5本固定します。ベルトはあまり強く締めすぎるとカバーの表側が浮いてしまうので、ご注意ください。



- 14 通したヒモを引くと、シートの下周りが絞り込まれます。絞り込んだヒモを緩まないように結び留めます。



- 12 カバーの両端から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



- 15 シートを表側に戻します。図のようにシートの付け根を押さえて、生地がシートから浮いて、突っ張っていないか確認します。少々生地は浮きますが、生地が突っ張るほど浮いている場合は、11番で固定したベルトを強く締めすぎているので、少し緩めて調整して下さい。



- 16 11ページ7番で外したプラスチックパーツを元に戻します。生地の厚みにより戻し辛くなっているため慎重に作業を行って下さい。まずはツメをプラスチックパーツの穴に引っ掛けます。



- 17 プラスチックパーツでしっかり生地を押さえ、ネジを固定します。



- 18 4か所のプラスチックパーツ全てを固定します。プラスチックパーツを固定しなおすことにより、シート付け根の生地が押さえ付けられて、よりシートに密着します。シートを車体から外してのカバーの装着は以上です。シートは2列目背もたれ・サイドパーツの装着後、車体に戻します。

2列目背もたれ・サイドパーツのカバーを装着後、シートを車体に戻します。



- 19 シートを車体に戻します。10ページ3番で外した後ろ側のフックを固定します。図のような角度でシートの付け根を背もたれ下に押し込みます。

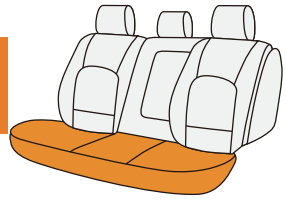


- 20 固定するフックとフックを引っ掛ける突起部です。この位置を確認しながらフックを引っ掛けます。なかなかフックが突起部に届かないようであれば、カバーの生地がチャイルドシート固定用アンカーなどに引っ掛かっていることがあります。その場合はカバーの生地を少々ずらして、再度装着しなおして下さい。



- 21 20番のフックが固定出来たら、シートを完全に固定する前に10ページ1番で外したシートベルトをバックルに固定します。シートの穴にシートベルトを通して、図のようにシート裏で固定します。シートベルトを差し込む際は、差し込む向きがあるので、ご注意下さい。

13P ▶



手探りでシートの穴に
バックルを通す

- 22 図のようにシートの前側を上げた状態で、シートの裏に手を入れて、シートベルトバックルをシートの穴位置に合わせます。次に10ページ2番のフックの位置を合わせます。シートの前側を押し込み固定します。



- 23 シートベルトバックル収納部のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。この際、シートベルトバックルにシートベルトを差し込んでおくと作業が行い易くなります。



- 24 運転席側のシートベルトバックル収納部分は図のようになります。



- 25 助手席側のシートベルトバックル収納部分は図のようになります。



- 26 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法

助手席側は32番からご確認下さい



- 1 トランクルームを開けます。トランク内の上側にある図のレバーを引くと2列目背もたれのロックが解除され、シートが前に倒れるようになります。



- 2 1番のレバーを引くと図のようにシートが前に倒れるようになります。



- 3 2列目背もたれ横のパーツ（以下・サイドパーツ）を外します。このサイドパーツを外したり、カバーを装着して元に戻す際に、図のウェザーストリップ（扉の周りにあるゴム製の枠・雨や埃の侵入防止の役割）を外してしまったり、ずらしたりしてしまう場合があります。それにより雨漏りなどの症状が後々起きる場合がありますが、適正な装着を行っていたければ、まず起こらない症状です。
シートカバーを装着後のウェザーストリップに関する問い合わせは一切受け付けることが出来ません。予めご了承下さい。



- 4 サイドパーツの上にあるシートベルトのガイドから、シートベルトを抜き出します。



- 5 サイドパーツを固定している図のボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは12mmを使用します。



- 6 ボルトを外したら、サイドパーツを上へスライドさせるように持ち上げます。



- 7 上に持ち上げた状態で、手前に引くとサイドパーツが外れます。矢印の方向へシートを一旦内へ寄せながら外します。まっすぐ手前に引くと、サイドパーツの外側に付いているフックが、ウェザーストリップに引っ掛かる恐れがあるので、ご注意ください。サイドパーツの装着方法は23ページからご確認ください。



- 8 2列目中央のシートベルトを、シートベルトのガイドから抜き出します。



- 9 シートベルトのガイド自体をシートから外します。ガイドはネジ2本で固定されています。ドライバーを使用してネジを外すとシートから外れます。



- 10 アームレストをシートから外します。図のプラスチックパーツを外します。
※11番も合わせてご確認ください。
 ①プラスチックパーツの付け根を持ち上げるようにして、②助手席側を押します。③その状態で手前に引いていくとプラスチックパーツが外れます。



- 11 外れたプラスチックパーツの裏側です。プラスチックパーツの裏側には固定のためのツメなどがあります。これらを変形させたりしないように、作業は慎重に行ってください。



- 12 プラスチックパーツを外すと中にアームレストを固定しているネジがあります。ネジを助手席側のシートを押しながらプラスドライバーを使用して外します。プラスドライバーは3番の太いサイズを使用します。ドライバーをしっかりと押し込み回さないとネジ穴が潰れる恐れがあるので、ご注意ください。ネジが回らない場合は17ページ13番をご確認ください。



- 13 16ページ12番で、ドライバーではネジが固くて外れなかった場合は、ソケットレンチなどで使用できる、ドライバービットソケット（ソケットレンチに差し込めるドライバー）を使用して下さい。ネジを外しやすくなります。



- 14 ネジを外すとアームレストがシートから外れます。図の矢印方向へアームレストの付け根部分をゆっくり引いていくと図のようにアームレストが外れます。



- 15 2列目背もたれカバーの装着は、座面を外しているため、座面下の金属部分が剥き出しの状態のためカバーの装着を行います。金属部分には鋭利な箇所もありますので、タオルケットや毛布のようなものを敷いて作業することをお勧めします。



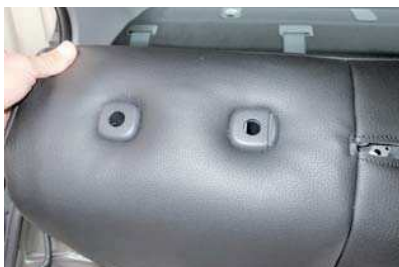
- 16 カバーの装着を行います。内側のファスナーを開いた状態で、シートと一体型の中央ヘッドレスト部分からカバーをかぶせます。ヘッドレストの形状に馴染ませるように、しっかりとかぶせて下さい。



- 17 アームレストを外した軸部分に、カバーの加工穴を通します。



- 18 カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



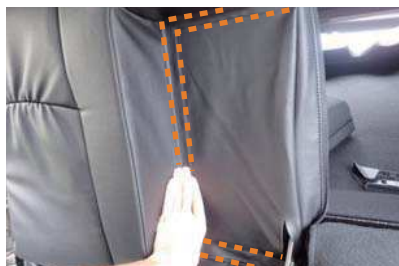
19 ヘッドレストの台座を取り出します。



22 点線部分の裏側にマジックテープが付いています。アームレストの収納部に角をしっかりと合わせるようにして、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



20 シート外側の付け根部分です。シートのラインに添わせるようにカバーを馴染ませます。



23 アームレスト収納部の下側も角をしっかりと合わせて、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



21 シート内側のアームレスト下です。こちらでもシートのラインに添わせるようにカバーを馴染ませます。



24 シートの下から生地を入れ込みます。



25 入れ込んだ生地を、シートを倒して背面から引き出します。



28 シート背面のシートを固定するアンカー部分のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっています。作業は慎重に行ってください。



26 カバー内側のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



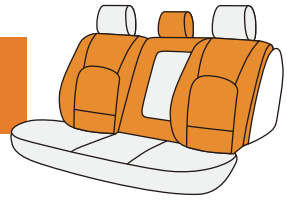
29 生地を全て入れ込むと図のようになります。



27 25番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。こちらはしっかり端から端まで貼り付けていないと、シートを起こした際にラゲッジ部分に生地が引っ掛かり固定が外れてくる恐れがありますので、ご注意ください。



30 シートベルトのガイドを生地を挟み込み元に戻します。



- 31 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。



- 34 シートのラインに添わせるようにカバーを馴染ませます。シートの下から生地を入れ込みシート背面から引き出します。

2列目助手席側背もたれ



- 32 内側のファスナーを開いた状態でカバーをかぶせます。



- 35 カバー内側面のファスナーを慎重に閉じます。シート背面から引き出した生地とカバーの背面下を、マジックテープで固定します。



- 33 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 36 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。

Step5

…→ 2列目アームレストの装着方法



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。



- 4 ファスナーの両端をカバーの中へ入れ込みます。



- 2 アームレストのラインに合わせてカバーを全体にかぶせます。



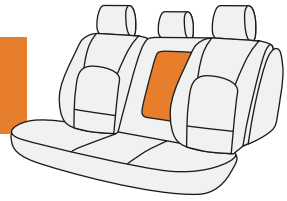
- 5 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。こちらはフチがかなり深めになっています。角から徐々に入れていきます。



- 3 アームレストの軸部分で生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。



- 6 ドリンクホルダーのフチに生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 7 アームレストをシートに戻します。
矢印の方向にシートの穴にアームレストの軸を通します。



- 10 軸の金属部分にプラスチックパーツを元に戻します。突起部とツメの位置を意識してしっかりとめ込みます。一度固定した後にアームレストを動かしてしっかりと固定されているか確認して下さい。



- 8 プラスチックパーツを外している、金属部分に注意してアームレスト入れ込みます。アームレストを起こした状態だと生地が引っ掛かりやすくなります。アームレストを出した状態で作業を行います。



- 11 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



- 9 16ページ12番で外したネジを元通りに固定します。

Step 6

…> サイドパーツの装着方法



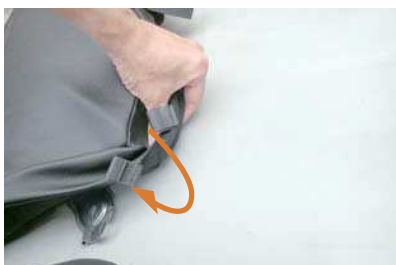
- 1 15ページ3番でも記載していますが、サイドパーツを装着する際に、図のウェザーストリップを外したり、ずらしたりしてしまう場合があります。ウェザーストリップが外れたりずれたりした場合、水漏れなどが起こる可能性があります。サイドパーツの装着は慎重に行ってください。



- 2 シートベルトガイドをドライバーを使用して外します。



- 3 カバーを先端からラインを合わせてかぶせます。



- 4 付け根部分は生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 5 サイドパーツ全体にカバーをかぶせます。この状態でもう一度カバーとパーツのラインを確認します。



- 6 サイドパーツのカバーは純正シート地を固定している部分を利用して、カバーの装着を行います。純正シート地を固定している白いフックを図のように外します。



7 外した白いフックはクッションと白いプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



10 内側の上にあるゴムを金属フックに引っ掛けて固定します。



8 白いフックを固定していた場所に、カバーに付いている黒いフックを引っ掛けて固定します。このフックの固定は上側2か所、下側4か所あり、同様に固定します。



11 サイドパーツ側面の純正シート地の固定を外します。純正シート地には先端にプラスチック部材が付いて、隙間にはめ込まれているので、指で抜き出します。



9 内側の下に純正シート地が2か所ツメで引っ掛けて固定されています。その上からカバーも同様に、ツメにカバーの切り込みを引っ掛けて固定します。



12 純正シート地の固定を外した図です。



- 13 外した純正のシート地は邪魔にならないようにカバーの内側へ折りたたみます。



- 16 サイドパーツの裏側を全て固定すると、図のようになります。



- 14 純正のシート地を固定していた隙間に、カバーの端に付いている、先が丸い部材を生地と一緒に入れ込みます。部材の丸い部分を先頭にしっかりと入れ込みます。



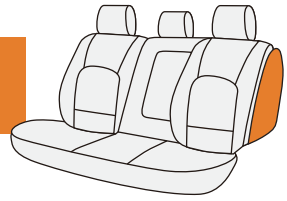
- 17 シートベルトガイドを生地を挟み込み、元に戻します。



- 15 14番で入れ込んだ部材と生地を、簡単に抜けないようにしっかりと押し込みます。



- 18 サイドパーツを車体に戻します。サイドパーツ裏の上側にサイドパーツを固定するフックがあります。それを車体側にある受けの部分に引っ掛けて固定します。



- 19 18番のフックを固定した状態のサイドパーツの内側です。内側はサイドパーツが車体側の溝にしっかりとハマるように固定します。20番も合わせてご確認ください。



- 22 シートベルトガイドにシートベルトを通します。



- 20 15ページ3番で、23ページ1番でも注意喚起しているウェザーストリップ部分です。図のようにサイドパーツの外側には白いフックが付いています。こちらをウェザーストリップに引っ掛けないように内側へ入れ込みます。



- 23 カバーのラインを整えて、運転席側サイドパーツの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



- 21 15ページ5番で外したボルトを元通りに固定します。

Step 7

…→ ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。ヘッドレストは下側にいくにつれ、カバーをかぶせるのがきつくなっています。指でヘッドレストの角を押しながら、カバーをかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレストの裏側で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



生地と一緒に折り返す

- 5 プラックの固定方法は、かき状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



10 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。1列目同様にブラックを固定します。



8 2列目ヘッドレストです。2列目ヘッドレストは図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



11 2列目ヘッドレストの裏は図のようになります。



9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

…> 1列目コンソールの装着方法

コンソールのフタのカバーは、フタとフタの裏側のプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込み固定します。シンプルな作業ではありますが、大変手間のかかる作業です。落ち着いて、丁寧に作業を行って下さい。またプラスチックパーツをヘラなどでこすったりすると傷が入ります。予め養生をしておくなどの対策をお勧めします。



- 1 コンソールのフタ部分にカバーをかぶせませす。フタの付け根に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 2 1番の付け根部分を軸に、フタの先端側へカバーをかぶせていきます。先端の先にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 3 コンソールのフタ全体にカバーがかぶりまりました。フタのラインとカバーのラインを整えます。



- 4 コンソールのフタ部分と裏側のプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込んでいきます。
5番からコツ的な装着方法を含めて説明していきます。



- 5 まずフタとプラスチックパーツの隙間に慎重にヘラを差し込みます。



- 6 ヘラを差し込み、出来た隙間にさらにもう一本ヘラのようなものを差し込みます。図ではヘラの代用の効くものとしてプラスチックスプーンを使用しています。



- 7 スプーンで隙間を保ちつつ、始めに差し込んだヘラを取り外して、隙間に生地を入れ込んでいきます。この作業をコンソールのフタ全体に行っていくと作業が行い易くなります。
- 生地を入れ込みながら、カバーのラインがずれていないか確認して下さい。
- また、生地を入れ込んでいく際にフタの裏側のツメが外れる場合があります。その場合はフタを押し込みツメをはめ込んで下さい。



- 8 フタの後ろ側にも生地を入れ込みます。



- 9 フタの後ろ側は図のように収まります。



- 10 フタの軸部分にも生地を入れ込みます。一番作業が行い辛い場所ですが慎重に生地を入れ込んでいきます。



- 11 カバーのラインを整えて、1列目コンソールの完成です。

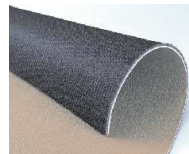


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816